

Library News



大山崎中学校 図書室

令和8年 6月

図書室の窓から見える田んぼに水が張られました。田植えの季節、そして雨の季節がやってきました。本にとって湿気は大敵です。カビや虫の発生を招くからです。現代の図書館はエアコンに頼っていますが、昔は天日干しをしていたそうです。みなさんのおうちの本はどうでしょうか？

6月は6類の本を

5月は5類の本はいかがでしたか？6類は「産業」です。農林業、水産業、林業、畜産業、商業、さらに運輸、通信業もここになります。6類の本は5類よりもさらに冊数が少なく、個性的な本ばかりです。

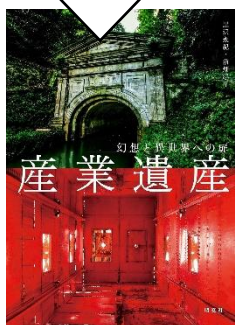
幕末から戦前までの日本近代産業を支えてきた重厚な建築物や構造物。役目を終え、朽ちかけた遺構の圧巻の美しさをオールカラー写真でどうぞ。



『スマホアプリはなぜ無料？』

松本健太郎 河出書房新社

どうして無料でこんなに楽しめるんだらうって考えたことありますか？世の中にはあなたの知らない仕組みがあるのです。もしかしたら無料の裏であなたは何かを奪われているのかも…だまされないためにぜひ読んでみて。



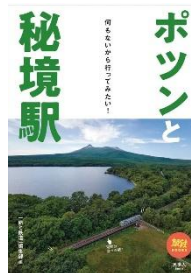
『幻想と異世界への扉
産業遺産』昭文社
黒沢永紀 前畑洋平



『ヤギと暮らす』
今井明夫 扶桑社



『自分の力で肉を獲る』
千松信也 旬報社



『ポツンと秘境駅』
旅と鉄道編集部
天夢人

誰も住んでいないような大自然の中に秘境駅はあります。かつては人の営みがあったはずの場所に取り残された駅の風情は浪漫にあふれ、そこへたどり着くまでの旅もまた極上のものとなるのです。

近年ヤギを飼う人が増えているとか…ヤギを飼ってみたい人には必読の書。

京大生から猟師になった千松さん。猟をして生き物の命を奪うことはその生き物とつながることであり、自分もまた自然の一部であると実感することだと語ります。猟のやり方や肉の解体についても説明してくれます。

選書会参加者募集！

6月29日(月)放課後、図書室にて選書会を行います。選書会では本屋さんが持って来た本の中から、図書室に置いてほしい本を選び、しおりをはさみます。しおりの数を参考に先生と司書とで購入する本を決めます。従来は図書委員と生徒会本部役員が参加していましたが、今年はそれに加えて希望者を30名ほど募集します。図書委員から配られた申込書に必要事項を記入し、提出してください。一緒に図書室を作っていきましょう。

新着本から

同じスポーツ小説でも全く味わいの異なる2冊。どちらが好みでしょうか？

『スウィッシュ』 藤ノ木優 徳間書店

天才的な羽瑠のプレイに魅せられて高校からバスケを始めた愛奈は2年間も父親と絶交中。運動は決して得意ではないが、羽瑠と一緒にプレイするのは楽しい。3年になって最後の大会を目指す中、羽瑠が骨折してしまう。このままでは羽瑠と一緒に大会へ出ることも、密かに胸に秘めた夢も消えてしまう。愛奈はスポーツドクターの父に助けを求め、夢を追いかけるが、次から次へと問題が発生して…

『青天』 若林正恭 文藝春秋

アメフト部に全てをかけていた高3のアリこと中村は春の大会2回戦で無様な負け方をして、引退。受験勉強をすることもなく、ぐれて不良にもなりきれず、自分を持て余していた。そんな時、後輩から、復帰して一緒に秋の大会を目指しませんか、と誘われ…オードリーの若林の初小説。高校時代アメフト部だった若林が自らの体験を元に描く、今話題の強烈な青春小説！



司書のひとごと 昨日の本棚から 『デモクラシーのいろは』 森絵都

角川書店

混乱の残る1946年、日本にデモクラシー（民主主義）を根付かせる教育を構築するために、GHQが始めた、4人の女性に半年間、民主主義を教えるという実験を描いたものです。これを任されてしまった日系2世のサクラギ先生と個性豊かな4人のバトルは面白おかしく、そして後半の彼女たちの起こす逆転劇は爽快そのものです。読んでいくうちに自然と漠然としていた民主主義が自分の中で形作られていくようです。「民主主義とは押しつけられた物語ではなく、自分自身で考えた物語を生きること」とサクラギ先生は言います。今、アメリカやヨーロッパ、そして日本でも民主主義の危機が叫ばれています。こんな時代を生きる中学生にこそ読んでもらいたい一冊です。